

令和4年度

各教科 年間
指導・評価計画

【第3学年】

国分寺市立第一中学校

	教材	学習内容	評価の観点
一学期	世界はうつくしいと	詩の鑑賞、音読	詩を読んで考えたことを表現している。【思考判断表現】 言葉の表現に注目しその価値を認識している【主体的態度】
	握手	物語の構成展開把握	物語の展開を捉えようとしている。【主体的態度】 文章を読んで自分の考えを広げている。【思考判断表現】
	評価しながら聞く	スピーチの聞き取り	話の展開を予測して聞き、聞き取ったことを評価している。【思考判断表現】 聞き取ったことをメモしようとしている【主体的態度】
	学びて時に之を習ふ	古典読み取り 漢文訓読	歴史的背景を理解しながら孔子の言葉に触れ、古典に親しんでいる。【知識技能、主体的態度】
	作られた「物語」を超えて	論説文の比較	他の文章と比較しながら論理の展開や主張の確かさを評価している。【思考判断表現】 論理の展開などの理解をしようとしている【主体的態度】
	思考のレッスン	具体と抽象の把握	情報の具体的、抽象的な関係について理解を深めている。【知識技能】 情報同士の結びつきについて理解しようとしている【主体的態度】
	漢字に親しもう1	熟語の読み方の確認	熟語の読み方の学習を通して語彙を豊かにしている。【知識技能】
二学期	すいかは幾つ必要？	文法理解	助詞、助動詞のはたらき、文の構成について理解を深める。【知識技能】
	報道文を比較して読もう	報道文の比較	報道文を比較して読み、考えたことをまとめている。【思考判断表現】 文章を比較し、気づいたことをまとめている【主体的態度】
	俳句の可能性	俳句の鑑賞、創作	表現のための語句を増やし、語感を磨いている。【知識技能】 意図に応じた表現になるように俳句の言葉を選んでいる。【思考判断表現、主体的態度】
	挨拶——原爆の写真によせて	詩の鑑賞と解釈	詩の表現を理解し、人間、社会について自分の意見を持っている。【思考判断表現】 詩の表現語彙についてより深く知ろうとしている【主体的態度】
	故郷	小説の評価	既習事項を生かしながら小説の表現・展開を評価している。【思考判断表現、主体的態度】
	聞き上手になろう	対談	敬語などの相手に応じた言葉を使って対談している。【知識技能】 相手の話に相づちを打つなど主体的に会話をしようとしている【主体的態度】
	言葉2 慣用句・ことわざ・故事成語	慣用句・ことわざ・故事成語の理解	慣用句やことわざについて理解を深めている。【知識技能】
	文章の種類を選んで書こう	修学旅行記を作る	目的に応じて集めた情報の客観性を確認し伝えたいことを明確に示している。【知識技能】 文章の種類を選択し、読み手を説得できるような文章を書いている。【思考判断表現】 読み手に伝わるように語彙を調べ、推敲を重ねている【主体的態度】
	漢字2 漢字の造語力	新しい漢字の理解	常用漢字に加え、その他の漢字の大体を読んでいる。【知識技能】
	人工知能との未来	文章の要旨を捉える	情報の信頼性を確かめている。【知識技能】 文章を批判的に読みながらものの見方について考えている。【思考判断表現】
三学期	説得力のある批評文を書く	批評文の作成	表現の仕方を考えたり資料を適切に引用し、批評文を書いている。【思考判断表現】 批評文の構成や展開について理解しようとし、改善しようとしている【主体的態度】
	合意形成に向けて話し合おう	集団討論	進行を工夫し、互いの意見をいかしながら合意形成をしている。【思考判断表現】 自分の想いや考えを伝えようとしている【主体的態度】
	初恋	詩の鑑賞、音読	表現を理解するための語彙を増やそうとしている【主体的態度】 詩を読んで感じたこと、人間の恋愛について考えている。【思考判断表現】
	読書活動	ビブリオバトル	読書の意義と効用を理解し、それを他者に伝えている。【知識技能】 読書を通して自己を向上させようとしている【主体的態度】
	君待つと ——万葉・古今・新古今 夏草——「おくのほそ道」から	古典の鑑賞 古典の引用	時間の経過による言葉の変化を理解している。【知識技能】 長く親しまれている古典を引用し、手紙の文に使っている。【知識技能】 古来から伝わる言葉の価値に気づき使おうとしている【主体的態度】
	誰かの代わりに	論説文の読み取り	文章を読んで、社会やそこで生きる自分自身について考えを持っている。【思考判断表現】 自らについて主体的に考えようとしている【主体的態度】
	グラフを基に小論文を書く	小論文作成	論理の展開などについて助言を踏まえ改善している。【思考判断表現】 何度も試行錯誤しながら小論文を書こうとしている【主体的態度】
	「ない」の違いがわからない？	文法理解	助詞、助動詞のはたらき、文の構成について理解を深めている。【知識技能】
わたしを束ねないで	詩の解釈	詩を批判的に読みながら、あらわれているものの見方に考えを持っている。【思考判断表現】 詩の表現をより深く味わおうとしている【主体的態度】	
書写 三年間の歩みを振り返ろう	まとめ作品の創作	多様な表現、文字に触れ、それらを効果的に使いながら三年間の振り返りの作品を作ることができる。【知識技能、主体的態度】	

評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	方法	小テスト	言語活動（スピーチ・聞き取り・話し合いなど）	ノート・ワークシート・作文・作品
		定期考査	作文・作品	授業観察・振り返り
		書写	定期考査	家庭学習（レポート・ワーク）
基準	各評価場面での評価項目において、十分に満足できる状況を100%とした場合の、80%以上をA、50%以上をBとする。			

令和4年度 指導計画・評価計画 (学年:3年 教科:社会)

	項目	ねらい	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	歴史 ・近代日本の歩みと、現代の日本と私たち	・歴史的事象の意味意義や特色、事象間の関連を説明したり、課題を設けて追求したり、意見交換したりするなどの学習を重視し、思考力、判断力、表現力等を養わせるとともに、学習内容の確かな理解と定着を図らせる。	○大戦が人類全体に惨禍をもたらしたこと等、近代以降の歴史的な社会的事象とそれらの因果関係や現代社会との関わり等について理解している。	○近代以降の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。	○近代以降の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究している。
	公民 第1章 現代社会と私たち	・現代社会を捉える見方や考え方の基礎として、対立と合意、効率と公正などの見方や考え方があることを、具体的な社会生活と関連づけて理解させる。	○人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解している。	○対立と合意、効率と公正等に着目し、社会生活における物事の決定の仕方、契約を通じた個人と社会との関係等について多面的・多角的に考察し、表現している。	○私たちが生きる現代社会と文化の特色について、現代社会に見られる課題の解決に向け自らの学習を振り返りつつ粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。
	第2章 個人の尊重と日本国憲法	・日本国憲法の基本原理(国民主権、平和主義、基本的人権の尊重)について、具体的な生活との関わりを通して理解させるとともに、自由・権利と責任・義務の関係が社会生活の基本となっていることに気づかせる。	○人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め法の意義を理解している。 ○民主的な社会生活を営むためには法に基づく政治が大切であることを理解している。	○対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配などに着目し、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について、多面的・多角的に考察、表現している。	○人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。
2学期	第3章 現代の民主政治と社会	・議会制民主主義の意義や、国会を中心とする国政のあらまし、地方自治の考え方について理解させる。	○国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解している。 ○議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用の在り方について理解している。	○対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目し、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	○民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。
	第4章 私たちの暮らしと経済	・無限で多様な人々の欲求に対して、社会の資源は有限であり、その資源からどの財やサービスを生産するか価格を考慮して選択するという、市場経済の基本的な考え方を理解させ、現代の生産や金融などの仕組みや働き、企業の役割と責任について考えさせる。	○身近な消費生活を中心に、経済活動の意義について理解している。 ○社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解している。	○対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任等について、現代社会の生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりしている。	○国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して、自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。
3学期	第5章 地球社会と私たち	・国際社会の現状や諸課題について関心を持たせ、日本の果たすべき役割について考えさせるとともに、世界平和の実現と人類の福祉の増大に向けての熱意と協力しようとする態度を育てる。	○地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解している。	○対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性等に着目し、日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛、国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察、構想し表現している。	○世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く学習に取り組む、主体的に社会に関わろうとしている。
評価基準	方法(材料)		ア. 定期考査 イ. プリント ウ. 発表	ア. 定期考査 イ. レポート ウ. 発表	ア. 定期考査 イ. ノート ウ. プリント エ. 授業取組
			・テスト中の資料を活用して解く問題に解答できる。 ・課題に対し、資料に基づいて考え、ICTを活用するなどして追究することができる。	・テスト中の思考・判断・表現を求め問題に解答できる。 ・課題に対して、主体的対話的で深い学び等を通して多面的・多角的に考察することができる。	・意欲的に授業に取り組むことができている。 ・工夫がされたノートづくりをしている。 ・社会的事象に興味関心を持ち、体験活動等を通じ主体的に社会に関わろうとしている。
	歴史的分野 40時間 公民的分野 100時間	A B	上記項目合計の達成率 80%以上 上記項目合計の達成率 50%以上	上記項目合計の達成率 80%以上 上記項目合計の達成率 50%以上	上記項目合計の達成率 80%以上 上記項目合計の達成率 50%以上

令和4年度 指導計画・評価計画 (学年：3 教科：数学)

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	多項式	<ul style="list-style-type: none"> 単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式で割る除法の計算をすることができる。 簡単な1次式の乗法の計算及び次の式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 既に学習した計算の方法と関連付けて、式の展開や因数分解する方法を考察し表現することができる。 文字を用いた式を活用して数量及び数量の関係を捉え説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 式の展開や因数分解をすることの必要性や意味を考えようとしている。 式の展開や因数分解について学んだことを学習に生かそうとしている。 式の展開や因数分解を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
	平方根	<ul style="list-style-type: none"> 数の平方根の必要性和意味を理解している。 有理数、無理数の意味を理解している。 数の平方根をふくむ簡単な式の計算をすることができる。 具体的な場面で数の平方根を用いて表したり処理したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> これまでに学んだ文字式の計算などと関連付けて、数の平方根をふくむ式の計算の方法を考察し表現することができる。 数の平方根を具体的な場面で活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 数の平方根の必要性和意味を考えようとしている。 数の平方根について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 数の平方根を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
	2次方程式	<ul style="list-style-type: none"> 2次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解している。 様々な方法で2次方程式を解くことができる。 事象の中の数量やその関係に着目し、2次方程式をつくることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 平方根や因数分解の考えをもとにして、2次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 具体的な問題の解決に2次方程式を活用し、解が適切であるかどうかを判断することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 2次方程式の必要性和意味を考えようとしている。 2次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 2次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
2 学 期	関数	<ul style="list-style-type: none"> 関数 $y=ax^2$ について理解している。 事象の中には関数 $y=ax^2$ として捉えられるものがあることを知っている。 関数 $y=ax^2$ を表、式、グラフを用いて表現したり、処理したりすることができる。 いろいろな事象の中に、関数関係があることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 関数 $y=ax^2$ として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。 関数 $y=ax^2$ を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 関数 $y=ax^2$ の必要性和意味を考えようとしている。 関数 $y=ax^2$ について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 関数 $y=ax^2$ を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
	相似な図形	<ul style="list-style-type: none"> 平面図形の相似の意味及び三角形の相似条件について理解している。 相似な平面図形の相似比と面積比の関係について理解している。 基本的な立体の相似の意味と、相似比と表面積の比や体積比について理解している。 誤差、有効数字の意味を理解し、近似値を $a \times 10^n$ の形に表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。 平行線と線分の比についての性質を見だし、それらを確かめることができる。 相似な図形の性質を具体的な場面で活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 図形の相似の意味や、相似な図形の相似比と面積比や体積比の関係を考えようとしている。 図形の相似について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 相似な図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
	円	<ul style="list-style-type: none"> 円周角と中心角の関係の意味を理解し、それが証明できることを知っている。 円周角の定理の逆が成り立つことを知っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 円周角と中心角の関係を見いだすことができる。 円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 円周角と中心角の関係を見いだそうとしている。 円周角と中心角の関係について学んだことを学習に生かそうとしている。 円周角と中心角を活用した問題解決の過程を振り返って検討している。
	三平方の定理	<ul style="list-style-type: none"> 三平方の定理の意味を理解し、それが証明できることを知っている。 三平方の定理を利用して、直角三角形の辺の長さを求めることができる。 三平方の定理の逆が成り立つことを知っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 三平方の定理を見いだすことができる。 三平方の定理を具体的な場面で活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 三平方の定理を見いだそうとしている。 三平方の定理について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 三平方の定理を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
3 学 期	標本調査	<ul style="list-style-type: none"> 標本調査の必要性和意味を理解している。 コンピュータなどの情報手段を用いるなどして無作為に標本を取り出し、整理することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 標本調査の方法や結果を批判的に考察し表現することができる。 簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 標本調査の必要性和意味を考えようとしている。 標本調査について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 標本調査を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
	総合演習			

評 価	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	方法	定期テスト	定期テスト	定期テスト	授業中の取り組み方
		単元テスト	単元テスト	単元テスト	課題への取り組み方
		確認テスト	確認テスト	確認テスト	提出物の提出状況
基準	各評価項目において、十分に満足できる状況を100%とした場合、80%以上をA、50%以上をB、50%未満をCとする。				

令和4年度 指導計画・評価計画

[第3年 理科]

学期	観点別評価例				
	月	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期 [48]	4月 [12]	継続観察 [1] 単元1 運動とエネルギー [31~32]	物体の運動とエネルギーを日常生活や社会と関連付けながら、力のつり合いと合成・分解、運動の規則性、力学的エネルギー、エネルギーを理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	運動とエネルギーについて、見通しをもって観察、実験を行い、その結果を分析して解釈し、力のつり合い、合成や分解、物体の運動、力学的エネルギー、エネルギーの規則性や関係性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。	運動とエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	5月 [12]				
	6月 [16]	単元2 生命のつながり [22~23]	生命の連続性に関する事物・現象の特徴に着目しながら、生物の成長とふえ方、遺伝の規則性と遺伝子、生物の種類の多様性と進化を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	生命の連続性について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の成長とふえ方、遺伝現象、生物の種類の多様性と進化についての特徴や規則性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。	生命の連続性に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	7月 [8]				
2 学期 [56]	9月 [12]	単元3 自然界のつながり [11]	日常生活や社会と関連付けながら、自然界のつり合いについて理解するとともに、微生物の働きなどを調べる観察、実験などに関する技能を身に付けている。	身近な自然界のつながりなどを調べる観察、実験などを行い、自然界のつり合いについて、科学的に考察して判断している。	自然と人間に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている
	10月 [16]				
	11月 [16]	単元4 化学変化とイオン [25~26]	化学変化をイオンのモデルと関連付けながら、水溶液とイオン、化学変化と電池を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	化学変化について、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。	化学変化とイオンに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	12月 [12]				
3 学期 [36]	1月 [12]	単元5 地球と宇宙 [25~26]	身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、天体の動きと地球の自転・公転、太陽系と恒星を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	地球と宇宙について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、天体の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。	地球と宇宙に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	2月 [16]				
	3月 [8]	単元6 地球の明るい未来のために [21]	日常生活や社会と関連付けながら、生物と環境、エネルギーと物質、自然環境の保全と科学技術の利用を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	身近な自然環境や地域の自然災害などを調べる観察、実験などを行い、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について、科学的に考察して判断している。 日常生活や社会で使われているエネルギーや物質について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈するとともに、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について、科学的に考察して判断している。	自然と人間に関する事物・現象、科学技術と人間に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価材料			・定期考査 ・小テスト ・実験、観察のレポート ・実技テスト	・定期考査 ・小テスト ・実験、観察のレポートの考察、発言や発表	・実験・観察への取り組み ・課題の提出、取り組み ・夏休みの課題
評価規準			A 上記評価項目の達成率8.0%以上 B 上記評価項目の達成率5.0%以上	A 上記評価項目の達成率8.0%以上 B 上記評価項目の達成率5.0%以上	A 上記評価項目の達成率8.0%以上 B 上記評価項目の達成率5.0%以上

※指導教員数及び持ち時数によっては、一部の単元を並行して実施することもあり得る。